

2019年1月24日

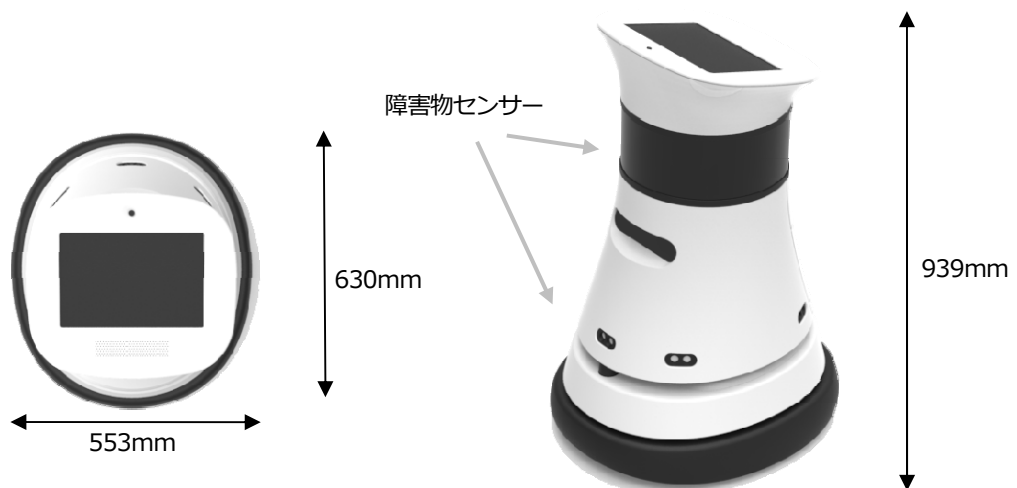
日本ユニシス
多機能ロボット「Siriusbot® (シリウスボット)」
大垣市役所の「ロボットを活用した市民サービスに係る共同実証実験」に参画

純国産自走式案内ロボット「Siriusbot」が、岐阜県大垣市の大垣市役所にて実施された「ロボットを活用した市民サービスに係る共同実証実験」に参画しました。実施期間は、2019年1月15日から2019年1月28日までの予定です。

今回の実証実験では大垣市役所来庁者にフロア内の窓口や設備情報を表示し、ロボットが自律走行しながら目的地まで先導案内することで、市民サービス利便性向上や公共施設におけるロボットの実証性を検証するものです。

全国の自治体において自律移動型案内ロボットを導入するのは初の取り組みです。

【Siriusbot (シリウスボット) とは】



センサーが障害物を検知して、障害物のないルートを選択して走行します。
 重さ：約 35kg / 走行速度：6km/h (最大)

<庁舎内誘導機能>

- ・タッチパネル操作で、庁舎内の窓口各種施設情報を案内 (日本語、英語対応)
- ・来庁者が行きたい窓口まで自律走行で誘導



【実証実験の概要】

地方の人口減少社会を見据え、今後は少ない職員で市民サービスの充実を図る環境も想定されるなか、自律走行型ロボットを活用した実証実験は、全国自治体で初の試みとなります。大垣市役所では、市民サービスの利便性向上を目指し、2020年1月に利用を開始する新庁舎での本格導入を検討していきます。

場 所	大垣市役所（岐阜県大垣市丸の内2丁目29番地）1階カウンター付近
期 間	2019年1月15日（火）～2019年1月28日（月）
内 容	来庁者を目的地まで誘導（大垣市役所1階） ① 来庁されたお客様に対し、ロボットに搭載されたタッチパネル式ディスプレイでフロア内の窓口やトイレなどの設備情報を表示します。 ② お客様の要望に応じて、窓口や各設備まで、ロボットが先導してご案内します。

【今後の展開】

日本ユニシスは、「Siriusbot」の共同研究開発事業で得られた知見を生かし、幅広い業種に向けたサービスを展開していきます。また、お客さまの業務ニーズに応じて、AI/IoTなどの関連技術との組み合わせを強化し、サービスロボットの活躍シーンを抽出し、業務イノベーションを実現します。

以 上

※「Siriusbot（シリウスボット）」

東京都立産業技術研究センター（以下、都産技研）、08 ワークス、パルコ、日本ユニシスの4社が共同開発した、純国産自走式案内ロボット（都産技研の平成28年度ロボット産業活性化事業「公募型共同研究開発事業」）

■ 関連リンク

- ・ロボット導入サービス

<https://www.unisys.co.jp/solution/biz/robot/>

- ・2017年10月16日 ニュースリリース

池袋 PARCO で、多機能ロボット「Siriusbot（シリウスボット）」が、店舗案内と在庫確認を実施

https://www.unisys.co.jp/news/nr_171016_robot.html

- ・2017年1月12日 ニュースリリース

日本ユニシス 08 ワークスとパルコの3社が、東京都立産業技術研究センターの公募型共同研究開発事業に採択

https://www.unisys.co.jp/news/nr_170112_robot.html

※Siriusbot は、日本ユニシス株式会社の登録商標です。

※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<報道関係お問い合わせ窓口>

https://www.unisys.co.jp/newsrelease_contact/